

平成27年8月に第1号を発行した「いらごさららパーク通信」の第4号です。
いらごさららパークでは自然再生への取組の一つとして、海浜性植物などの再生・保全に取り組んでいます。
海浜性植物は、近隣の西の浜等から植生回復の目的で必要最小限の苗を採取し、圃場で育てたものを現地に再移植して、在来の海浜性植物による植生回復を図っています。
当公園において、各種イベントを開催しましたのでご紹介します。
皆様のご来園を心よりお待ちしております。

1. 特定外来生物である「オオキンケイギク」の駆除活動を実施しました（平成29年6月3日）

いらごさららパークにおいて、特定外来生物である「オオキンケイギク」が確認されているため、自然再生の取組の一環として、外来生物に関する学習会を行った後、駆除作業を行いました。

参加者のビューテック(株)、住友林業緑化(株)、免々田川を守る会、休暇村伊良湖、田原市の皆様、ご協力ありがとうございました。

＜オオキンケイギク＞

- ・ 北アメリカ原産のキク科の多年草であり、観賞用や緑化用として明治時代に日本に持ち込まれた。
- ・ 河川敷等の草地で繁殖し群落を作るため、生態系に大きな影響を与える。
- ・ 外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。



158名もの方々にご参加いただきました！



駆除したオオキンケイギクは600kg

2. 伊良湖休暇村公園にて「アウトドアフェスタ」を開催しました（平成29年9月24日）

休暇村伊良湖と共催で、毎年恒例の「アウトドアフェスタ」を開催しました。

いらごさららパークの園地を利用したウォークラリーを始め、砂の彫刻を作るサンドアート体験や椰子の実転がし大会、餅投げ、芋掘り、工作教室など、たくさんの自然と触れあえる企画を実施しました。

天候にも恵まれ、家族連れを中心に500名もの方々にお越しいただきました。ありがとうございました。



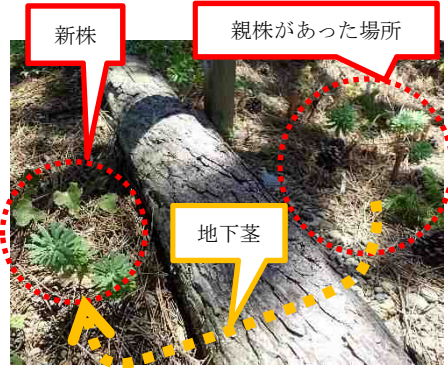
3. 絶滅危惧種「ハギクソウ」について

渥美半島固有の希少な海浜性植物である「ハギクソウ」（絶滅危惧ⅠA類）を希少種エリアに移植し、昨年4月から展示を開始しました。

現在は、地下茎を伸ばして元気に分布範囲を広げています。12～1月頃に葉が紅葉し見頃を迎えますので、ぜひご覧ください。



今年の春先に芽生えた新株です



地下茎で増えるため、離れた場所に新株が出ます



冬に美しく紅葉します

- <ハギクソウ>** 愛知県：絶滅危惧ⅠA類（国：絶滅危惧ⅠA類）、条例に基づく指定希少野生動植物種
- ・全国的に分布域の限られた非常に希少な植物で、愛知県内では渥美半島の限られた範囲のみに生育する。
 - ・海岸の砂地に生える多年生草本で、茎は直立して時に分枝し、高さ35～45cmになる。葉は多数密に互生し、長さ4～7cm、幅5mm前後である。
 - ・4～5月に黄色の花をつける。冬が近づくと少しずつ色づき始め、12月～1月頃に赤い色に紅葉する。
 - ・名前の由来は、葉の展開した姿が、菊の花に見えることから。



4. 昨年度の工事結果・今年度の工事予定

昨年度は観察路の舗装、自然観察に役立つ解説板の設置、オオシマザクラの植栽などを行いました。

今年度は、引き続き解説板の設置や希少種エリアの整備等を進めていく予定です。海浜性植物の新たな仲間「イワダレソウ」も植栽する予定ですので、お楽しみに！



観察路の舗装により歩きやすくなりました



秋～冬には多くの渡り鳥がみどり池を訪れます



オオシマザクラの植栽（さくら広場）

休暇村伊良湖情報

休暇村伊良湖は、「いらごさららパーク」に隣接し、宿泊はもちろん、日帰りでお食事のみのご利用も可能です。

野外施設として、キャンプ場、コテージ、テニスコート、グラウンド、体育館などがあります。

休暇村伊良湖（きゅうかむら いらご）
〒441-3615 田原市中山町大松上1
電話：0531-35-6411
<http://www.okamura.or.jp/irago/>

<お問い合わせ先>

愛知県環境部自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6227、ファックス：052-963-3526
Eメール：shizen@pref.aichi.lg.jp

*事業の詳細はウェブページをご覧ください。

「あいちの環境 自然環境課」で検索

<http://www.pref.aichi.jp/kankyosizen-ka/shizen/irago/irago.html>

